

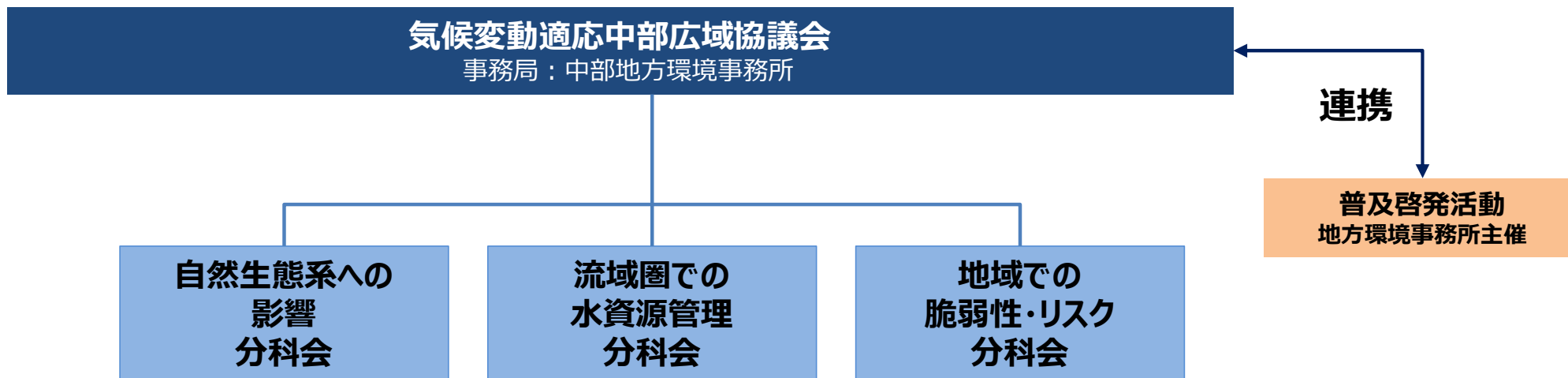
令和4年度事業概要

令和4年8月31日

中部地方環境事務所
(株)地域計画建築研究所（アルパック）

中部広域協議会の概要

◆ 気候変動適応中部広域協議会の運営・開催



<構成員>

- ・都道府県、政令指定都市、その他市町村※
- ・地方農政局、地方整備局、地方運輸局、地方森林管理局、管区气象台等国の地方支分部局
- ・地域気候変動適応センター、研究機関、有識者
- ・地域地球温暖化防止活動推進センター※
- ・地域の気候変動適応に関係を有する事業者等※
- ・その他

※地域の状況により、必要に応じて参加

<アドバイザー>

敬称略 五十音順 ※座長

氏名	所属
香坂 玲	東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授
杉山 範子	名古屋大学 大学院環境学研究科 特任准教授
高取 千佳	九州大学 大学院芸術工学研究院 准教授
中村 晋一郎	名古屋大学 大学院工学研究科 准教授
原田 守啓	岐阜大学 地域環境変動適応研究センター センター長・准教授
福井 弘道※	中部大学 中部高等学術研究所 副学長・所長・教授

令和4年度事業の概要

【令和4年度 スケジュール】

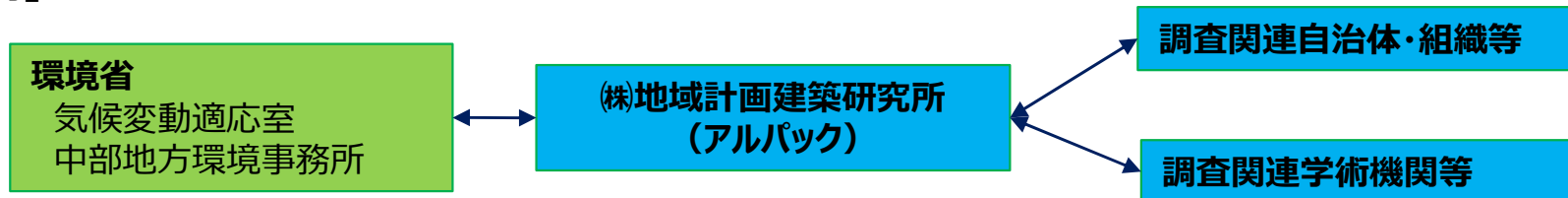
活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
広域協議会					▲ 第8回						▲ 第9回	
自然生態系への影響分科会				▲ 第1回						▲ 第2回		
流域圏での水資源管理分科会				▲ 第1回						▲ 第2回		
地域での脆弱性・リスク分科会				▲ 第1回						▲ 第2回		
普及啓発活動										対象別実施		

◆ 気候変動適応に関する普及啓発活動

普及啓発活動は各分科会のテーマごとに行う。

- 自然生態系への影響分科会：一般市民、自治体職員等を対象としたセミナー（1回程度、100名程度、半日程度、オンラインを想定）
- 流域圏での水資源管理分科会：自治体及び、関係機関職員を対象としたセミナー（1回程度、40名程度、半日程度、オンラインを想定）
- 地域での脆弱性・リスク分科会：自治体職員を対象とした研修会（1回程度、30名程度、半日程度、オンラインを想定）

【実施体制】



自然生態系への影響分科会

自然生態系への影響分科会の概要

テーマ：気候変動による自然環境・生物への影響への対策

「生物多様性国家戦略2012-2020」において、我が国の生物多様性に対する4つの危機の一つとして、気候変動を含めた地球環境の変化による危機があげられており、豊かな自然環境の喪失だけでなく、農林水産業や文化等にも多くの影響を与えることが危惧されている。自然生態系への気候変動影響について検討するため、これまで地方公共団体や研究機関、市民等が実施してきたモニタリングの調査結果データ等の整理・共有に加え、気候変動影響の観点からそれらのデータを分析・評価し、調査対象とする気候変動影響の絞り込みを行い、関係者の連携による自然環境・生物への影響に対するアクションプランの策定を目指す。

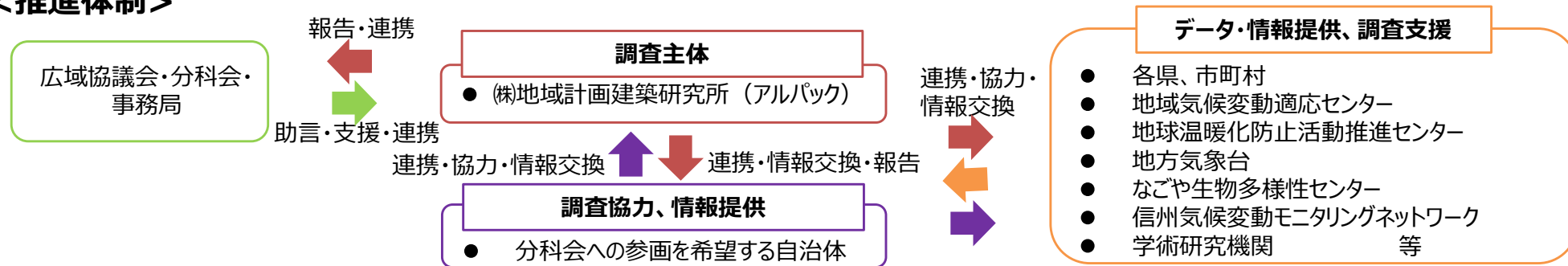
<アドバイザー> ※敬称略

座長： 東京大学 教授 香坂 玲
(生物多様性・
農林業の自治体戦略・政策)
副座長：九州大学 准教授 高取 千佳
(景観生態学、都市計画)

<有識者>

信州大学 助教 水谷 瑞希
(森林生態学)

<推進体制>

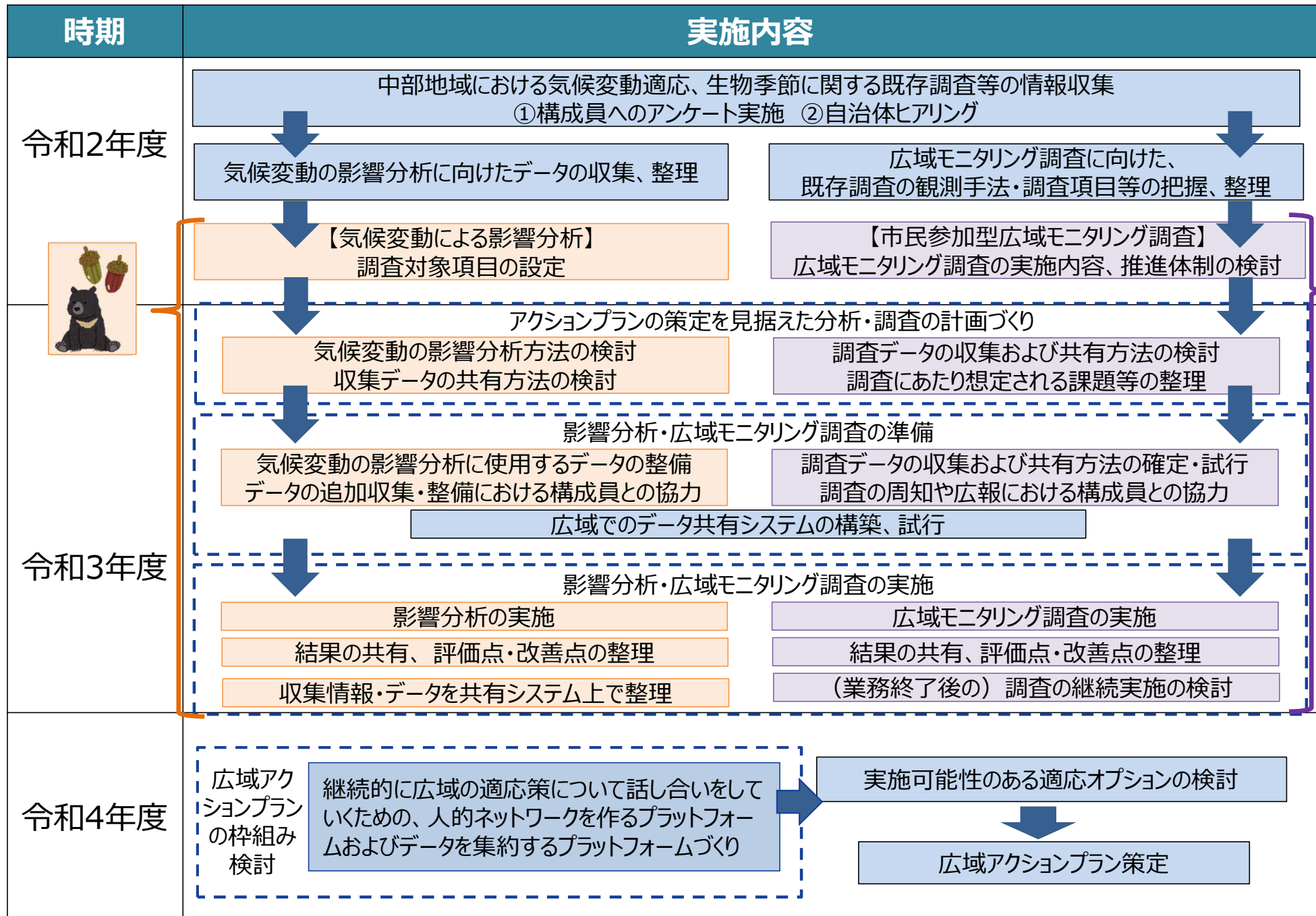


<メンバー>

令和4年7月現在

種別	メンバー
地方公共団体	県：富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県 政令指定都市：名古屋市 市町：珠洲市、岐阜市、岡崎市、豊田市、みよし市
地域気候変動適応センター	信州気候変動適応センター、岐阜県気候変動適応センター、愛知県気候変動適応センター、三重県気候変動適応センター
地方支分部局	東京管区気象台、関東農政局、北陸農政局、東海農政局
企業 ほか	愛知県地球温暖化防止活動推進センター

自然生態系への影響分科会における検討内容（令和2-4年度）



流域圏での水資源管理分科会

流域圏での水資源管理分科会の概要

テーマ：気候変動下における持続可能な流域での水資源管理方法の検討

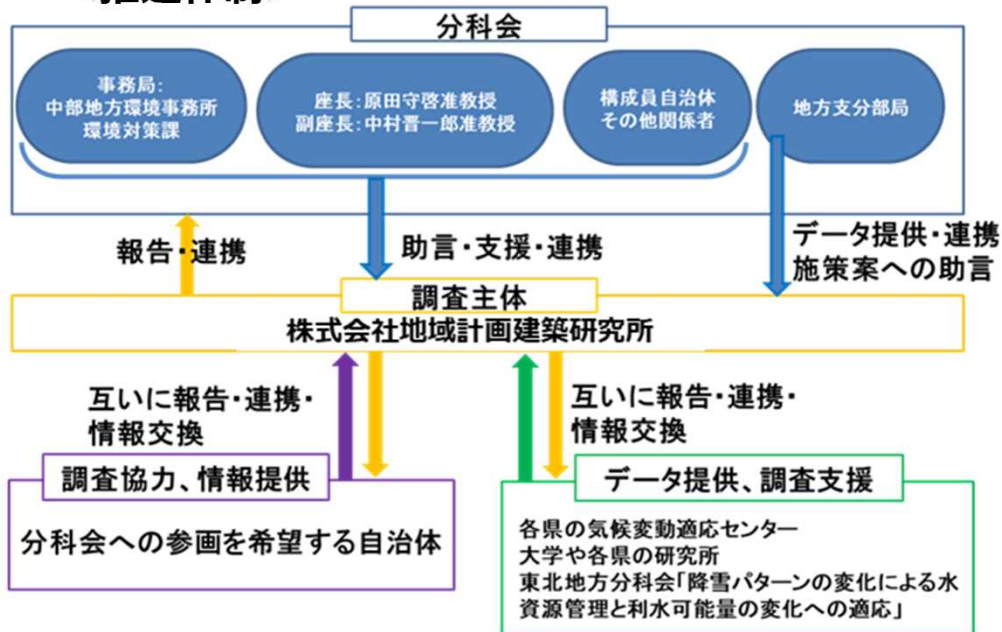
近年、気候変動の影響で降雨や降雪の時期、量、融雪時期に変化が現れてきており、今後更なる変化が予測される。これに加えて、人口減少や過疎化によって、水源となる森林や農地の管理状況や、土地や水資源の利用状況等においても、将来的な変化が予想される。このため、流域圏全体での水資源の利用状況を把握した上で、気候変動による影響を把握するとともに、気候変動の影響と社会の変化を考慮した効果的な水源や水資源管理方法等を整理し、関係者が連携して実施するアクションプランの策定を目指す。

<アドバイザー>

※敬称略

- 座長：岐阜大学 准教授 原田守啓
(流域圏科学、河川工学)
- 副座長：名古屋大学 准教授 中村晋一郎
(水資源学、水工学)

<推進体制>



<メンバー>

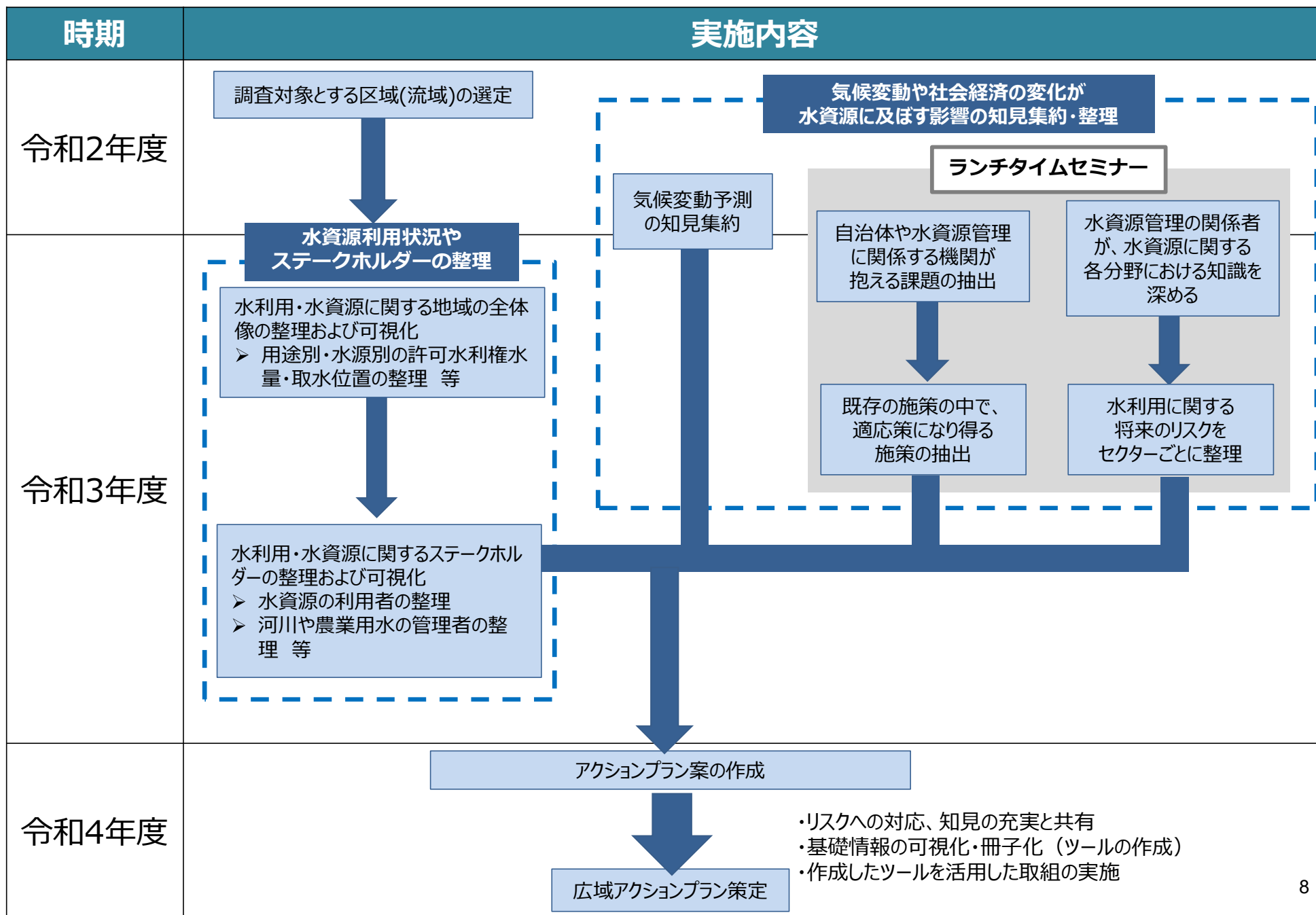
令和4年8月現在

種別	メンバー
地方公共団体	県：富山県、石川県、福井県、岐阜県、 政令指定都市：名古屋市 市町：黒部市、宝達志水町、岐阜市、 岡崎市、みよし市
地域気候変動適応センター	富山県気候変動適応センター 岐阜県気候変動適応センター
地方支分部局	関東地方整備局、北陸地方整備局、中部 地方整備局、近畿地方整備局、中部運輸 局、東京管区气象台、中部森林管理局、 近畿中国森林管理局

<オブザーバー>

愛知県、水資源機構中部支社

流域圏での水資源管理分科会における検討内容（令和2-4年度）



地域での脆弱性・リスク分科会

地域での脆弱性・リスク分科会の概要

テーマ：地域での脆弱性・リスクの総点検を通じた広域連携の推進

都道府県・政令市レベルでは、すでに地域気候変動適応計画の策定が進んでおり、適応に関係する既存施策の整理がされつつある。その一方で、県・政令市の気候変動の影響や脆弱性・リスクは分野横断的な視点で必ずしも点検されていない。また、気候変動の影響は、気候変動の影響予測や評価のみではなく、その地域の今後の人口動態や土地利用、生態系サービス、産業、交通、エネルギー等の社会・経済面によっても大きく異なってくる。このような**気候変動の影響と社会・経済的な変化の双方を組み合わせた将来の脆弱性・リスクを把握する指標の整理と可視化**を行う。また、**これらの情報をもとに分野横断的な脆弱性・リスクの抽出を行うための自治体向けワークショップモデルの構築を検討**する。各自治体から出てきた課題の中で、広域で取り組むべきものを抽出・検討し、本事業終了後の分科会テーマとすることを目指す。なお、本分科会においてはアクションプランの策定は行わない。

<メンバー>

令和4年7月現在

<アドバイザー>

※敬称略

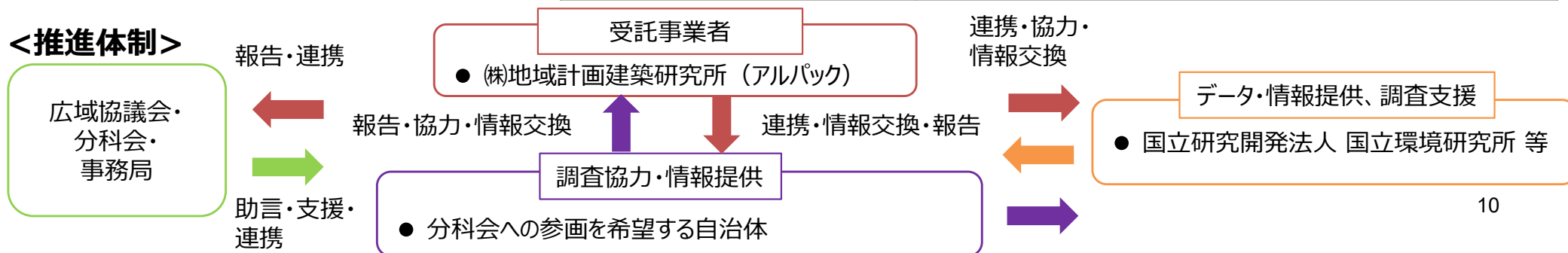
座長：名古屋大学 特任准教授 杉山 範子
(環境学、地域気候政策)
副座長：中部大学 教授 福井 弘道
(地球環境学、空間情報科学)

<有識者>

東北工業大学 ライフデザイン学部 教授
大場 真 (生物学、情報学)

種別	メンバー
地方公共団体	県：富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、愛知県 三重県 政令市：名古屋市 市町：岐阜市、豊橋市、岡崎市、豊川市、刈谷市、 豊田市、知立市、みよし市、長久手市、四日市市
地域気候変動適応センター	信州気候変動適応センター、岐阜県気候変動適応センター、 三重県気候変動適応センター
地方支分部局	東京管区気象台
地球温暖化防止活動センター	愛知県地球温暖化防止活動センター

<推進体制>



地域での脆弱性・リスク分科会における検討内容（令和2-4年度）

